

Ehime Food Innovation コンソーシアム 今後の取組

2021年12月20日

EFIコンソーシアム会長

(愛媛県経済労働部産業支援局長)

佐藤 努

EFI設立の背景①：地域ビジネスの基盤強化

○愛媛の食品関連産業は、従業者数ベース、生産・出荷額ベースともに、
地域経済・雇用を支える基幹産業

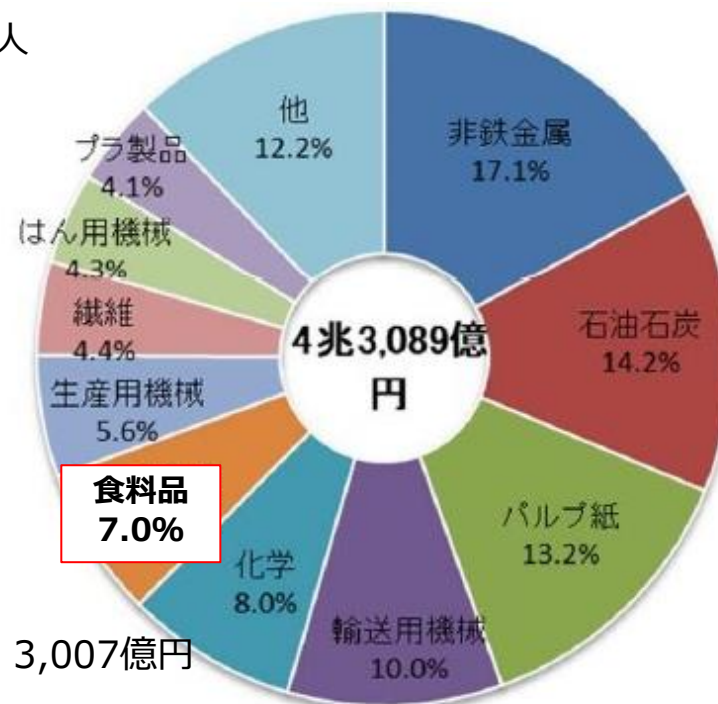
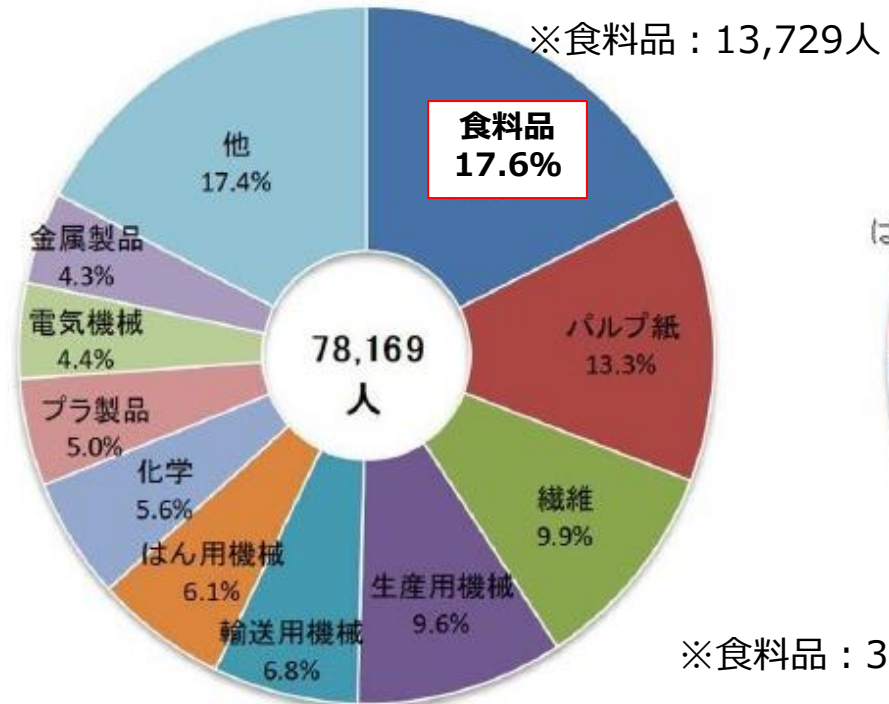
(食料品製造で1.4万人,3000億円、農業・漁業を加えると8.9万人,5100億円)

○今後の地域ビジネス(観光、ワーケーション等)振興に不可欠な基盤

産業別従業者数構成比

産業別製造品出荷額等構成比

農業・漁業の産出額・従業者数



農業産出額：1,207億円
 農業従事者：69,400人
 漁業産出額：862億円
 漁業従事者：6,186人

出所：農林水産省
 農業産出額：「生産農業所得統計」(R元)
 農業従事者：「農業構造動態調査結果」(R元)
 漁業産出額：「漁業産出額」(R元)
 漁業従事者：「漁業センサス」(H30)

出所：愛媛の工業(速報)。2020年工業統計調査(速報)結果から愛媛県が集計
 2019年従業者4人以上の事業所

EFI設立の背景②：SNSの普及とデジタルマーケティングの進展

- SNSが社会インフラとなり、誰でも情報発信できる社会に
- コロナ禍でネット通販が拡大する中、新たな顧客開拓とマーケットイン型の商品開発・改良に向けて「デジタルマーケティング」が有効

※2020年07月時点

| |  Facebook |  Twitter |  Instagram |  LINE |  YouTube |
|--------------|--|---|---|--|---|
| ユーザー数（日本） | 2,600万人 | 4,500万人 | 3,300万人 | 8,400万人 | 6,200万人 |
| 人口カバー率 ※1 | 20.0% | 35.6% | 26.1% | 66.6% | 49.1% |
| アクティブ率 ※2 | 56.1% | 70.2% | 84.7% | 86.6% | 72.0% |
| 男性 ※3 | 55.2% | 53.2% | 44.0% | 47.2% | 56.6% |
| 女性 ※3 | 44.8% | 46.8% | 56.0% | 52.8% | 43.4% |

※1 日本の総人口1億2,596万人として算出（2020年07月01日概算値）

※2 2017年～2018年外部調査に基づくアクティブ率（LINE社発表、総務省情報通信研究所データも含む）見る、書き込む、投稿するいずれか1つ以上行っている人を利用者として算出

※3 ガイアックスソーシャルメディアラボ記事より抜粋「11のソーシャルメディア最新動向データまとめ」

※4 YouTubeについては公式からの情報は非公開、外部調査より抜粋

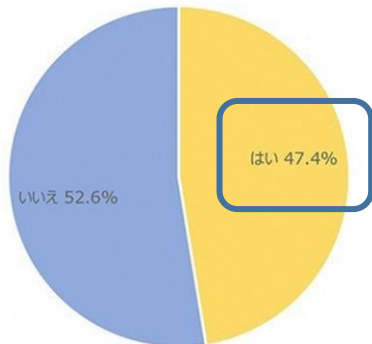
EFI設立の背景③：人材のふるさと回帰・定着のチャンス

○コロナ禍によって、学生の地方就職・地元貢献、副業の実施・関心が高まる

- 約5割の学生が地方就職を希望、約3割が地元貢献をその理由に（出所：民間調査）
- 約7割の社会人等が副業を実施又は関心あり（出所：内閣府）
- 約5割の企業が副業(条件付き含む)を許容（出所：内閣府）

○愛媛大学・愛媛食産協が実践型インターンシップ(Food camp)を実施中

UIターンや地方での就職を希望しますか？



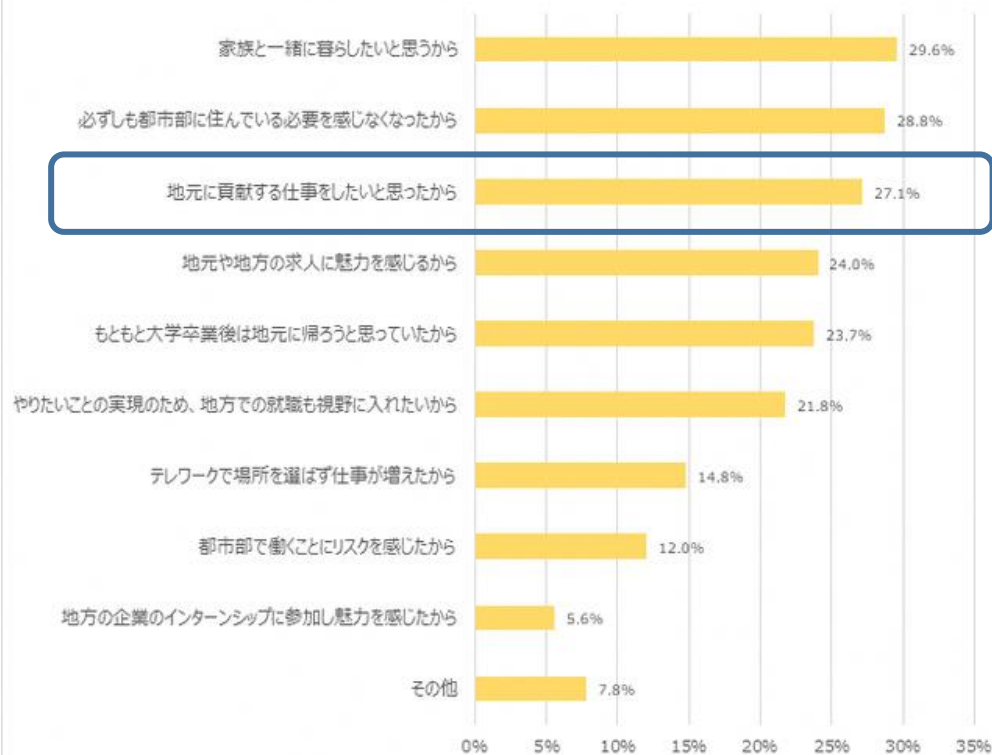
※2020年6月比25.6ポイント増

【出典】2022年卒学生の就職意識調査

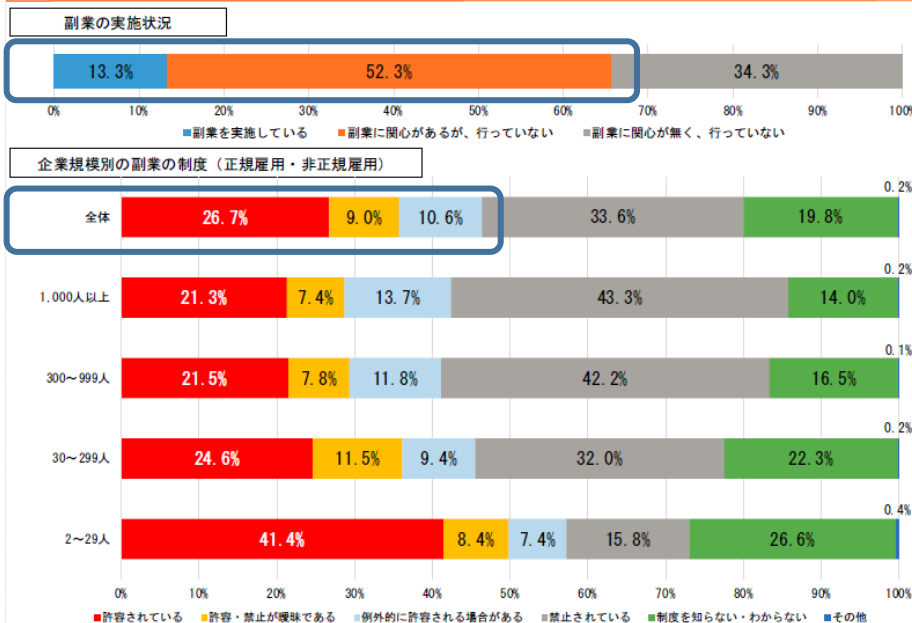
(2021年5月版「株式会社学情」)

- ・調査対象：「あさぐナビ2022」サイト来訪者
- ・調査方法：Web上でのアンケート
- ・調査期間：2021年4月27日～5月11日
- ・有効回答数：681名

UIターンや地方での就職を希望する理由（複数回答可）



1. 【働き方】副業の実施状況・制度（就業者）



【出典】第4回新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査（令和3年11月 内閣府）

- ・調査方法：インターネット調査（国内居住の登録モニター）
- ・調査期間：2021年9月28日～10月5日
- ・回収数：10,128人(就業者が約7割)

EFI設立の背景④：SDGsへの対応とバックキャスティング思考

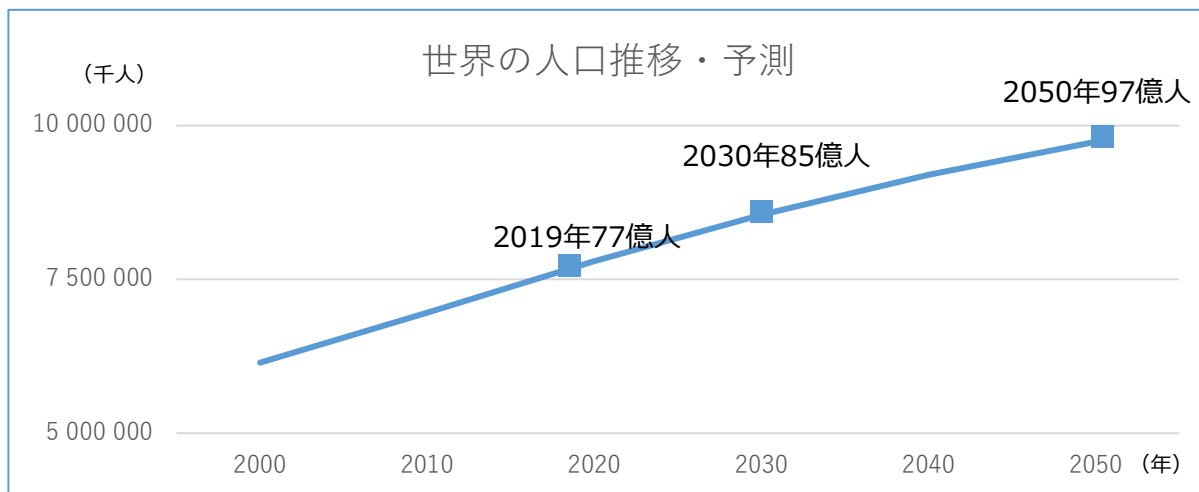
○日本人口は減少傾向だが、世界の人口は増加傾向

➤ 日本人口：2015年1億2709万人、2040年1億1092万人、2053年9924万人
出所：日本の将来推計人口(平成29年) 国立社会保障・人口問題研究所

➤ 世界人口：2019年77億人、2030年85億人、2050年97億人
出所：世界人口推計2019年版 国連

○持続可能な未来像を描き、そこで起こりうる課題の解決策を先駆けて見出しておくことが必要

(課題例) 畜産拡大による地球温暖化、穀物の不足・価格高騰、天然資源の枯渇、海外需要増顧客の環境配慮・安心安全・健康志向、フードロス削減、海洋プラスチック問題 等



EFI設立の背景⑤：「フードテック先進県」を実現する実績と技術力

- 農商工連携・六次産業化による高品質な加工食品開発の実績が豊富
- 機能性表示食品をはじめ、植物性タンパク質原料の肉・乳製品・養殖飼料、さらには昆虫原料の食品・養殖飼料の開発実績
- ドローン活用によるスマート農業、自動給餌機活用によるスマート養殖の進展
- 農業のロボット活用、食品加工の自動化、消費・賞味期限延長、サステイナブル容器活用等を後押しするものづくり企業が存在
- 植物工場はじめ、上述の取組を研究・人材育成でサポートする愛媛大学
- IT系人材を育成する民間スクール

【県内の主な取組事例】



代替肉



昆虫食



昆虫飼料



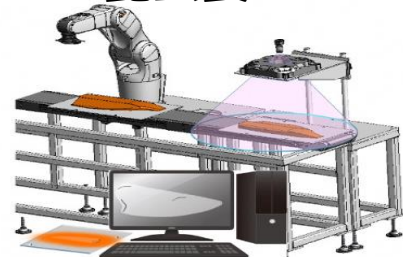
機能性食品



農業ドローン



植物工場



小骨自動除去
ロボット



消費・賞味期限延長
(UV活用)



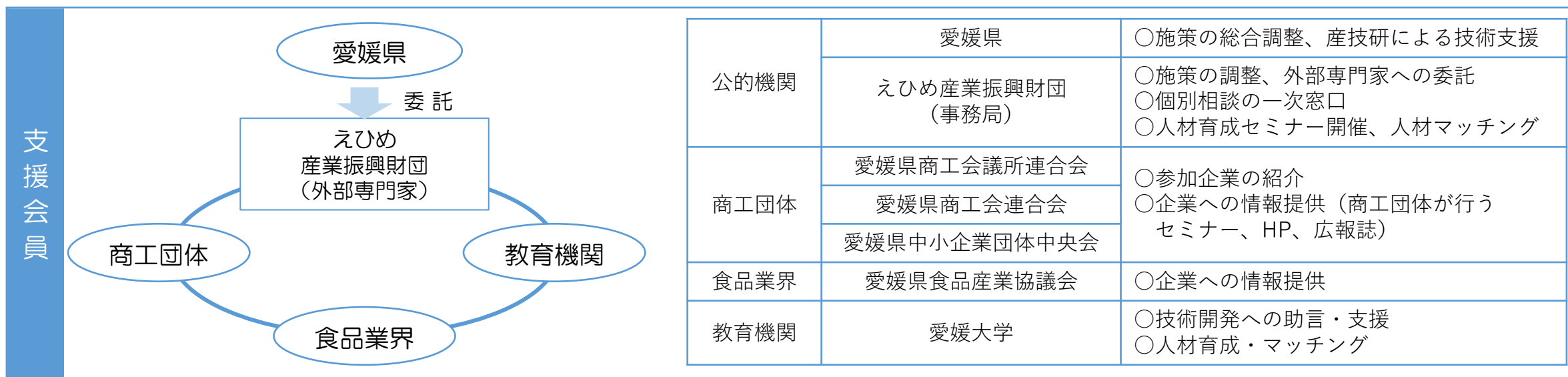
自動給餌



サステイナブル容器等
(紙・プラ)

EFIの概要・実施体制

- ①食とテクノロジー(IT・データ、バイオ等)の融合によるフードテック、
- ②SNSを活用したデジタルマーケティング、
- ③これらに必要な人材育成・マッチングを一体的に推進する、産学官による組織
- 公的機関等による「支援会員」が、企業等による「参画会員」の取組を支援



支援

参画会員

- フードテックやデジタルマーケティングを活用した商品・技術開発に取り組む又は支援する民間企業・団体、学校(参画無料)
- 最新のフードテック事情や県内企業の取組などを紹介するセミナー開催やメルマガ配信
 - 専門家による個別支援
 - 行政等が行う各種支援事業のご紹介、採択支援
- など

EFIの今後の取組

- 「フードテック・DX化推進実施計画」の策定、セミナー・広報を実施
- フードテック、デジタルマーケティング、人材育成・マッチングを推進するためのWGを設置し、外部専門家と連携した取組支援

【事業全体の取組】

- ①フードテック・DX化推進実施計画の策定
本県産業構造の特徴を分析し、イノベーション創出に向けたR5年度までのプロセスを記載
- ②認知度向上に向けた普及セミナー・広報を実施
 - ・国内外の先進事例を踏まえたセミナー（個別WGで委託する外部有識者 等）
 - ・フードテック事業に取り組む県内企業の講演
 - ・先行自治体による講演（新潟市 等）

【個別WGの取組】

フードテック
商品開発WG

【外部専門家と連携】

フードテック関連商品の開発等に係る取組み支援

- ①協業パートナーの紹介・マーケティング支援
- ②既存商品も含めたマーケティング支援
- ③需要に見合う生産体制の構築助言
- ④愛媛のフードテック企業の情報発信

デジタル
マーケティング
活用WG

【外部専門家と連携】

- ①WEB・SNS運用診断
 - ・WEB・SNSの改善点を抽出し、運用改善。
- ②デジタルマーケティングを活用した商品開発
 - ・WEB・SNS運用で得られたデータを分析しマーケットニーズを捉えた商品開発支援

人材育成・採用
WG

【財団直営】

個別WGで創出された新事業で必要となる人材の関係機関と連携したマッチング

ご清聴ありがとうございました。

がんばるけん
えひめけん



愛媛県経済労働部産業支援局長
佐藤 努

[TEL: 089-941-2111](tel:089-941-2111)(内線2040)

E-mail: satou-tsutomu@pref.ehime.lg.jp